



注意

モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。
樹脂表面にインクが吸収されて消えなくなります。

MW72

ストーマケアモデル装着式



注 意

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 印刷物をモデル表面に置かないでください ● モデルにボールペンやサインペンで書き込まないでください
モデル表面に印刷物が直接触れたり、書き込むとインクが吸収されて消えなくなります。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 汚れは中性洗剤又はアルコールで拭き取ってください
皮膚の汚れは水又は中性洗剤で、汚れが落ちにくい場合はアルコールで拭いてください。
※シンナーなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 高温多湿を避けて保管してください
高温多湿や直射日光のあたる場所での保管は避けてください。変形や変色など不具合の原因となります。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 皮膚表面が変色する場合があります
長期間使用されない場合や経年変化で変色する場合があります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 演習後は乾燥させてください。
模擬便や洗浄剤が付いている場合は、水で洗った後タオルなどで水分を十分にふき取ってください。湿っている場合は、陰干しするなどしてカビが生えない様に気を付けてください。 | |

■消耗品

11465-040 模擬便の素 20点

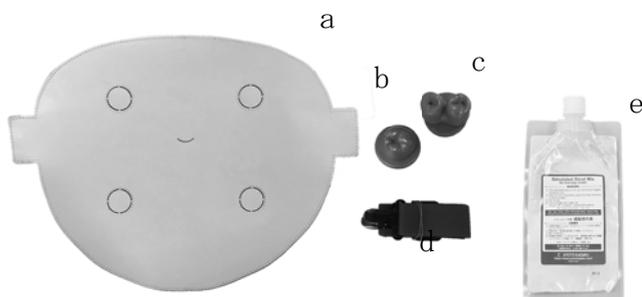
■交換部品

11465-010 ストーマケア用皮膚 1枚

11465-050 ストーマケア用ベルト 1本

セット内容

ご使用前に、構成品が全て揃っているかご確認ください。



- a. 皮膚……………1枚
- b. ストーマ（単孔式）…1点
- c. ストーマ（双孔式）…1点
- d. ベルト……………1本
- e. 模擬便の素……………1点

※5セットの場合は、それぞれ5点ずつになります。



株式会社 **京都科学**

<http://www.kyotokagaku.com>
rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

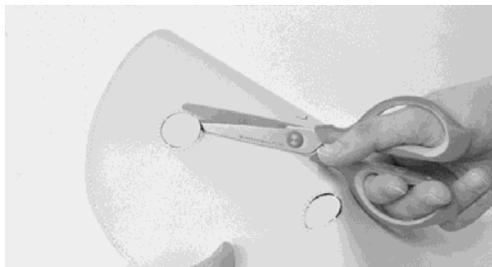
■本社・工場
〒612-8388
京都市伏見区北寝小屋町15番地
TEL：075-605-2510
FAX：075-605-2519

■東京支店
〒113-0033
東京都文京区本郷三丁目26番6号
NREG 本郷三丁目ビル2階
TEL：03-3817-8071
FAX：03-3817-8075

モデルの準備

1. 皮膚に孔を開ける

使用したい部位に孔を開けます。切れ目に沿ってハサミで切り取ってください。



2. ストーマを取り付ける

表側から、孔にストーマを取り付けます。ストーマの底面をつまんで入れると取り付けが容易です。外す際も、裏側から引っ張らずに、裏側をつまんで押し出す様にしながら表側からやさしく外してください。



3. ベルトを取り付ける

ベルトのクリップは折り曲げると開き、戻すと閉じる仕様になっています。皮膚の臍の位置を、装着者の臍の位置に合わせ、適宜ベルトの長さ調整を行って装着してください。※ストーマ洗浄を行う場合は、当モデルを装着する前に、撥水シートや防水エプロンを着用するなど汚れ対策を行ってください。

折り曲げる



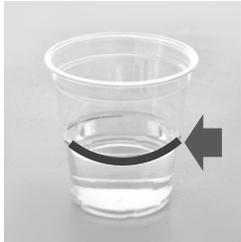
戻す



模擬便の準備

1. 模擬便の素に水を入れる（標準 80ml）

一般的なコップ（200ml）で半分程度が目安です。水を増減することで、任意の粘性に調整可能です。※水が少なすぎると混ぜにくくなります。※開封前の粉が湿っていることがありますがお使用上問題はありません。



2. 振る

空気を入れた状態で、しっかり蓋を閉めます。水が全体にいきわたる様に、上下左右に計 60 回以上振ります。

※揉んでしまうと、うまく混ぜられません。



3. 装具に模擬便を入れる

ストーマ装具の排泄口より模擬便を注入したら、準備完了です。

ポイント

揉まずに、強く振ることが重要です。

×揉む ○強く振る

衣服に付着したら

色が付着しない様、中性洗剤等ですぐに洗い流してください。
※化粧品に使用する材料・水溶性染料を使用しており、人体に害はありません。

作り方のコツ



YouTube

<https://youtu.be/Fjti7kcQUng>